



【左】 脳の損傷のデータの表

【右】 公害になる可能性がある分野の一覧

【表】 21世紀の公害の構成要件

- 【被害】健康被害(急性的/慢性的問わず)もしくは生活の質の低下(健康被害からくるもの/生活環境の損傷からくるもの)が生じ、それが相互に連鎖する。
- 【被害】健康被害(急性的/慢性的問わず)もしくは生活の質の低下(健康被害からくるもの/生活環境の損傷からくるもの)が生じ、それが相互に連鎖する。
- 【被害】健康被害(急性的/慢性的問わず)もしくは生活の質の低下(健康被害からくるもの/生活環境の損傷からくるもの)が生じ、それが相互に連鎖する。
- 【被害】健康被害(急性的/慢性的問わず)もしくは生活の質の低下(健康被害からくるもの/生活環境の損傷からくるもの)が生じ、それが相互に連鎖する。
- 【被害】健康被害(急性的/慢性的問わず)もしくは生活の質の低下(健康被害からくるもの/生活環境の損傷からくるもの)が生じ、それが相互に連鎖する。
- 【被害】健康被害(急性的/慢性的問わず)もしくは生活の質の低下(健康被害からくるもの/生活環境の損傷からくるもの)が生じ、それが相互に連鎖する。
- 【被害】健康被害(急性的/慢性的問わず)もしくは生活の質の低下(健康被害からくるもの/生活環境の損傷からくるもの)が生じ、それが相互に連鎖する。
- 【被害】健康被害(急性的/慢性的問わず)もしくは生活の質の低下(健康被害からくるもの/生活環境の損傷からくるもの)が生じ、それが相互に連鎖する。
- 【被害】健康被害(急性的/慢性的問わず)もしくは生活の質の低下(健康被害からくるもの/生活環境の損傷からくるもの)が生じ、それが相互に連鎖する。
- 【被害】健康被害(急性的/慢性的問わず)もしくは生活の質の低下(健康被害からくるもの/生活環境の損傷からくるもの)が生じ、それが相互に連鎖する。

香害 — 新たな空気公害

水野玲子

二〇〇九年前後から、家庭用品から揮発するニオイによる健康被害に悩まされる人が増加している。それは目下「香害」と呼ばれているが、具体的には、日々家庭で洗濯時に使用する柔軟仕上げ剤(以下、柔軟剤)、消臭・除菌スプレー、制汗剤、芳香剤、合成洗剤など、主に香りつき製品のニオイによってもたらされる健康被害のことである。多種類の有害物質が家庭用品から揮発して空気を汚染する。それを吸い込んで起こる健康被害という意味では、「香害」は新しいタイプの二一世紀型の空気公害ともいえる。

一方、「公害」といえば、わが国で多くの人が思い出すのが、水俣病、イタイイタイ病、そして、食品公害のカネミ油症などである。それら従来型の「公害」では、たとえば水俣病では有機水銀、イタイイタイ病ではカドミウム、カネミ油症ではPCB(ダイオキシン)など、少なくとも、原因となる化学物質を特定することができた。

ところが近年、先進諸国を中心に半世紀以上前には見られなかった新しいタイプの疾患や症候群が現れ、人々を苦しめている。多発性化学物質過敏症(MCS)、慢性疲労症

【左】 脳の損傷のデータの表

【右】 公害になる可能性がある分野の一覧

二一世紀型の公害の構成要件

- 【被害】健康被害(急性的/慢性的問わず)もしくは生活の質の低下(健康被害からくるもの/生活環境の損傷からくるもの)が生じ、それが相互に連鎖する。
- 【被害】健康被害(急性的/慢性的問わず)もしくは生活の質の低下(健康被害からくるもの/生活環境の損傷からくるもの)が生じ、それが相互に連鎖する。
- 【被害】健康被害(急性的/慢性的問わず)もしくは生活の質の低下(健康被害からくるもの/生活環境の損傷からくるもの)が生じ、それが相互に連鎖する。
- 【被害】健康被害(急性的/慢性的問わず)もしくは生活の質の低下(健康被害からくるもの/生活環境の損傷からくるもの)が生じ、それが相互に連鎖する。
- 【被害】健康被害(急性的/慢性的問わず)もしくは生活の質の低下(健康被害からくるもの/生活環境の損傷からくるもの)が生じ、それが相互に連鎖する。
- 【被害】健康被害(急性的/慢性的問わず)もしくは生活の質の低下(健康被害からくるもの/生活環境の損傷からくるもの)が生じ、それが相互に連鎖する。
- 【被害】健康被害(急性的/慢性的問わず)もしくは生活の質の低下(健康被害からくるもの/生活環境の損傷からくるもの)が生じ、それが相互に連鎖する。
- 【被害】健康被害(急性的/慢性的問わず)もしくは生活の質の低下(健康被害からくるもの/生活環境の損傷からくるもの)が生じ、それが相互に連鎖する。
- 【被害】健康被害(急性的/慢性的問わず)もしくは生活の質の低下(健康被害からくるもの/生活環境の損傷からくるもの)が生じ、それが相互に連鎖する。
- 【被害】健康被害(急性的/慢性的問わず)もしくは生活の質の低下(健康被害からくるもの/生活環境の損傷からくるもの)が生じ、それが相互に連鎖する。

生態系とヒトを 蝕み続ける 農薬

岡田幹治

農業を効率的に営むために使用される農薬は、「農の業」と表記されるが、実は何らかの生き物を殺す「殺生物剤」であり、基本的に毒物である。

殺虫剤は害虫を、除草剤は雑草を、そして殺菌剤は病原菌を殺すために使用されるのだが、ヒトを含めて生き物には共通したところが多いので、標的だけに影響を及ぼすことは、ほとんどの場合できない。

第二次大戦後急速に普及した「合成化学農業」について、

自然環境(生態系)とヒトの健康への深刻な影響を明確に指摘したのは米国の生物学者で作家のレイチェル・カーソンだった。彼女は一九六二年に出版した『沈黙の春』で、有機塩素系殺虫剤(DDTなど)の大量散布が虫や鳥を殺し、鳥のさえずりが聞こえない春を作り出したと警告した。

カーソンは、これまでの近代科学技術に主導された経済発展の道は構いと破壊への道であり、自然との共生をめざす「もう一つの道」こそ地球を守る道だと提言した。

しかし世界の人はその後成長をめぐして走り続け、より効率的な農業を次々に作りだし、大量に使い続けた。

化学物質に 満たされた コップの中の 子どもたち

森千里 十戸高恵美子

化学物質に満たされたコップの中の子どもたち

化学物質に満たされたコップの中の子どもたち

化学物質に満たされたコップの中の子どもたち

プラスチック依存社会からの脱却

高田秀重

プラスチック依存社会からの脱却

プラスチック依存社会からの脱却

プラスチック依存社会からの脱却